

事業番号	09 03 01	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検
事業名	需要に見合った水田利活用・経営安定総合対策事業	部局	農政部	課・室
		実施期間	S53 ~	E-mail
				nogi@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)				
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現			
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成	2-2 地域内経済循環の促進	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進	
	3-7 先端技術の積極的な活用・導入			

1 現状と課題

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 中核的水田農業経営体においてスマート農業技術が広く導入され、効率的な生産体制により、更なる規模拡大が進んでいる。《5ha以上の効率的な水田農業経営体(R4):800経営体》 全ての種子場産地(25産地)で、「種子場産地強化計画」に基づいた取組により産地の維持発展が図られ、優良種子が安定供給されている。 需要に応じた、県産の米・麦・大豆・そばの適正生産が行われている。《県オリジナル品種の作付面積(R4):3,370ha》 中核的水田農業経営体において、カイゼン手法が導入されており、企業的な経営が営まれている。 水田による需要の見込める品目の生産が行われ、主食用米の在庫量等に左右されない、水田農業が展開されている。 	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> スマート農業技術の大規模モデル実証やスマート農業機械のお試し導入による経営体への意識高揚の取組を実施 長野県主要農作物及び伝統野菜等の種子に関する条例を制定し、安定的に高品質な種子供給への体制整備に向けたビジョンを策定 水稻「風さやか」の認知度向上や、麦・そばの実需者ニーズに沿った新品種の計画的かつ戦略的な生産誘導 トヨタ式カイゼン手法を農業現場へ導入するため、カイゼン手法を推進する職員の育成、モデル経営体への導入支援 水田農業の複合化にかかるモデルほ設置や経営分析等を支援 	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 労働力が不足しており、所得向上を図るための規模拡大や他品目導入の障害となっている。 種子場産地では、生産者の高齢化と後継者不足、施設の老朽化が問題となっている。 生産現場では作りやすい品種の作付けが主体となっており必ずしも実需者が望む品種の生産が行われていない。 生産工程の一部において、ムダ・ムラ・ムリな体制となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> スマート農業技術の導入による規模拡大の推進については、農業改良普及事業へ統合 「長野県主要農作物種子生産ビジョン」の実現に向けて、種子生産に係る技術継承や施設更新について「種子場産地強化計画」に基づき推進 生産者団体と連携し、実需者ニーズに沿った適正生産を推進 カイゼン手法の導入による効率的な生産体系の確立 関係機関と連携し、水田を活用した需要に応じた品目の生産体制を構築

2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> ○主要農作物の種子生産者に対する支援等 <ul style="list-style-type: none"> 種子生産者が策定した「種子場産地強化計画」に基づく、後継者の確保・育成及び機械施設の改修による種子生産体制の整備 ○主要農作物の戦略的な生産拡大・ブランド確立の推進 <ul style="list-style-type: none"> 水稻「風さやか」の品質向上やブランド化に向けたイベントの開催、PR 酒造好適米「山恵錦」の既存品種からの転換による生産拡大と栽培適地での産地化推進 麦、大豆における実需者ニーズに即したオリジナル品種の推進やそれを契機とした産地力強化 信州ひすいそばの生産拡大に取り組む地域の産地化支援 ○トヨタ式カイゼン手法の導入による農業分野における経営改善の支援 <ul style="list-style-type: none"> カイゼン手法を導入する農業経営体の育成 カイゼン手法を習得する普及指導員の養成することによる、農業経営体への指導体制の強化 ○水田農業の体質強化の支援 <ul style="list-style-type: none"> 水田を活用し、需要の見込める品目の導入・拡大による、主食用米需要の減少化においても稼げる産地づくりを推進 主食用米の在庫量増大による需給緩和を解消するため、緊急的に飼料用米へ転換する取組を支援
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	【DX】報告書、申請書等の電子化

指標の状況及び目標値 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし、—:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値
1	実需者ニーズの高い県オリジナル品種の作付面積	ha	2,633	↗	2,777	↗	3,136	3,370
2	米の1等米比率の全国順位	位	1	↗	2	↘	1	1
3	水田への高収益作物などの作付面積	ha	10,627	↘	10,594	↗	10,942	11,977
4	5ha以上の効率的な水田農業経営体数	経営体	729	↘	719	↗	735	800
5								

事業コスト	区分(単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	前年度繰越			
予算額	当初予算	430,944	1,004,087	要求 2,875,265 予算案 1,251,176
	補正予算	-148,132	1,533,125	
	合計(A)	282,812	2,537,212	要求 2,875,265 予算案 1,251,176
	うち一般財源	38,229	36,625	要求 34,392 予算案 34,103
決算額(B)	272,738			
職員数(人)	7.0	7.0	6.0	

設定理由	<p>成果指標</p> <ol style="list-style-type: none"> 県オリジナル品種(米・麦・大豆・そば)の普及・拡大状況を評価できるため。 本県において、品質の高い米生産が行われていることを評価できるため。 主食用米の計画生産と需要を踏まえた水田への高収益作物の作付誘導により、水田の利活用状況を評価できるため。 本県の水田農業を担う効率的な水田農業経営を行う経営体の育成状況について評価できるため。 <p>目標値</p> <ol style="list-style-type: none"> 「第3期長野県食と農業農村振興計画」において、令和4年度までに県オリジナル品種(米・麦・大豆・そば)の作付面積を3,370haとすることを目標とする。 「水田農業トリプルアップ運動」において、水稻うるち玄米の1等米比率で全国1位を維持することを目標としており、品質の高い米の生産を継続的に進めるため令和4年度においても、米の1等米比率を全国1位とすることを目標とする。 需要に応じた水田の有効活用のため、令和3年度の実績値に主食用米の生産数量目安値の減少面積分を加えた面積を目標とする。 「第3期長野県食と農業農村振興計画」において、令和4年度の5ha以上の効率的な水田農業経営体数を800経営体とすることを目標とする。
------	---

予算要求からの主な変更点	穀類生産振興施設等整備事業の一部について、国の補正予算を活用し、1月補正予算に前倒し実施することにより、事業費を減額
--------------	--

事業番号	09 03 01	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	需要に見合った水田利活用・経営安定総合対策事業			部局	農政部	課・室	農業技術課

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
1	多様なニーズに対応する穀物生産振興事業	151,105 千円	715,310 千円	要求 2,520,330 予算案 896,530 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	穀物生産振興施設等の整備に対する支援	補助金	・意欲ある農業者等が穀物産地の営農戦略に基づく収益力強化の取組に必要な農業用機械・施設等の整備を総合的に支援	
2	水稻及び麦・大豆・そばの生産振興	直接	・需要に的確に対応した米・麦・大豆・そばの生産振興方針の策定 ・生産体制を強化するための技術研修会等の開催	
3	農産物の検査業務	直接	・農産物検査制度に基づく、検査機関の登録審査及び立入検査の実施	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
2	種子対策事業	15,466 千円	16,602 千円	要求 17,397 予算案 17,108 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	主要農作物の種子生産者に対する支援	補助金	・種子生産者が策定した「種子場産地強化計画」に基づく、後継者の育成及び機械施設の改修による種子生産体制の整備	
2	奨励品種決定調査	直接	・原原種及び原種の採種ほ場の設置 ・奨励品種決定調査の実施	
3	原種センターへの支援	補助金	・主要農作物種子(米、麦、大豆、そば)の安定生産・供給及び災害に備えた種子備蓄に係る原種センターへの支援	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
3	経営所得安定対策等推進事業	247,293 千円	257,033 千円	要求 318,316 予算案 318,316 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	制度への加入促進及び事業推進	補助金	・経営所得安定対策の説明会開催 ・農業者別生産数量目安値の通知、申請書の配布、回収 ・実績確認等 ・主食用米以外への転換の推進	

事業名	需要に見合った水田利活用・経営安定総合対策事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
-----	-------------------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
4	主要穀類戦略的産地育成・普及拡大支援事業	4,545 千円	4,488 千円	要求 予算案	5,316 5,316 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	県オリジナル品種(米)の普及促進	補助金 直接	<ul style="list-style-type: none"> 県オリジナル米「風さやか」の品質向上、栽培技術向上及びブランド化に向けたイベントの開催、PR活動の実施 酒造好適米「山恵錦」の既存品種からの転換による生産拡大と栽培適地での産地化推進 		
2	小麦、大豆の産地育成の推進	直接	<ul style="list-style-type: none"> 実需者ニーズに即した産地別の品種作付誘導の推進 品種転換を契機にした排水対策技術導入等による産地力強化 生産の集約化等による効率栽培の推進 		
3	「信州ひすいそば」の産地化プロジェクト	補助金	<ul style="list-style-type: none"> 生産拡大、地域ブランド化に取り組む地域の産地化支援 基本栽培技術の確立に向けた取組 		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
5	農業経営カイゼン導入促進事業	3,114 千円	2,776 千円	要求 予算案	2,546 2,546 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	カイゼン手法を導入する農業経営体の育成と指導体制の強化	委託	<ul style="list-style-type: none"> カイゼン手法を活かした普及活動の展開 次世代水田農業経営体に向けたカイゼン塾の開催 カイゼン手法を習得する普及指導員の養成 		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
6	水田農業経営確立推進指導事業	9,421 千円	7,878 千円	要求 予算案	11,360 11,360 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	水田農家の経営体質強化支援	補助金	<ul style="list-style-type: none"> 水田の有効活用のために市町村等が行う、地域推進品目の試作・導入や生産拡大を支援 		
2	水田農業の体質強化に係る推進	直接	<ul style="list-style-type: none"> 水田経営体の経営の複合化や、米の品質向上による水田農家の経営確立を支援 		
3	輸出用米の産地づくり支援	補助金	<ul style="list-style-type: none"> 地域農業再生協議会、農業者、輸出事業者が連携して輸出用米の産地づくりをはかる地域に対して、輸出用米の取組拡大に係る経費を支援 		